

四国横断自動車道 <sup>すくも</sup>宿毛～<sup>うちうみ</sup>内海  
第1回 説明資料

平成28年 9月30日  
国土交通省 四国地方整備局

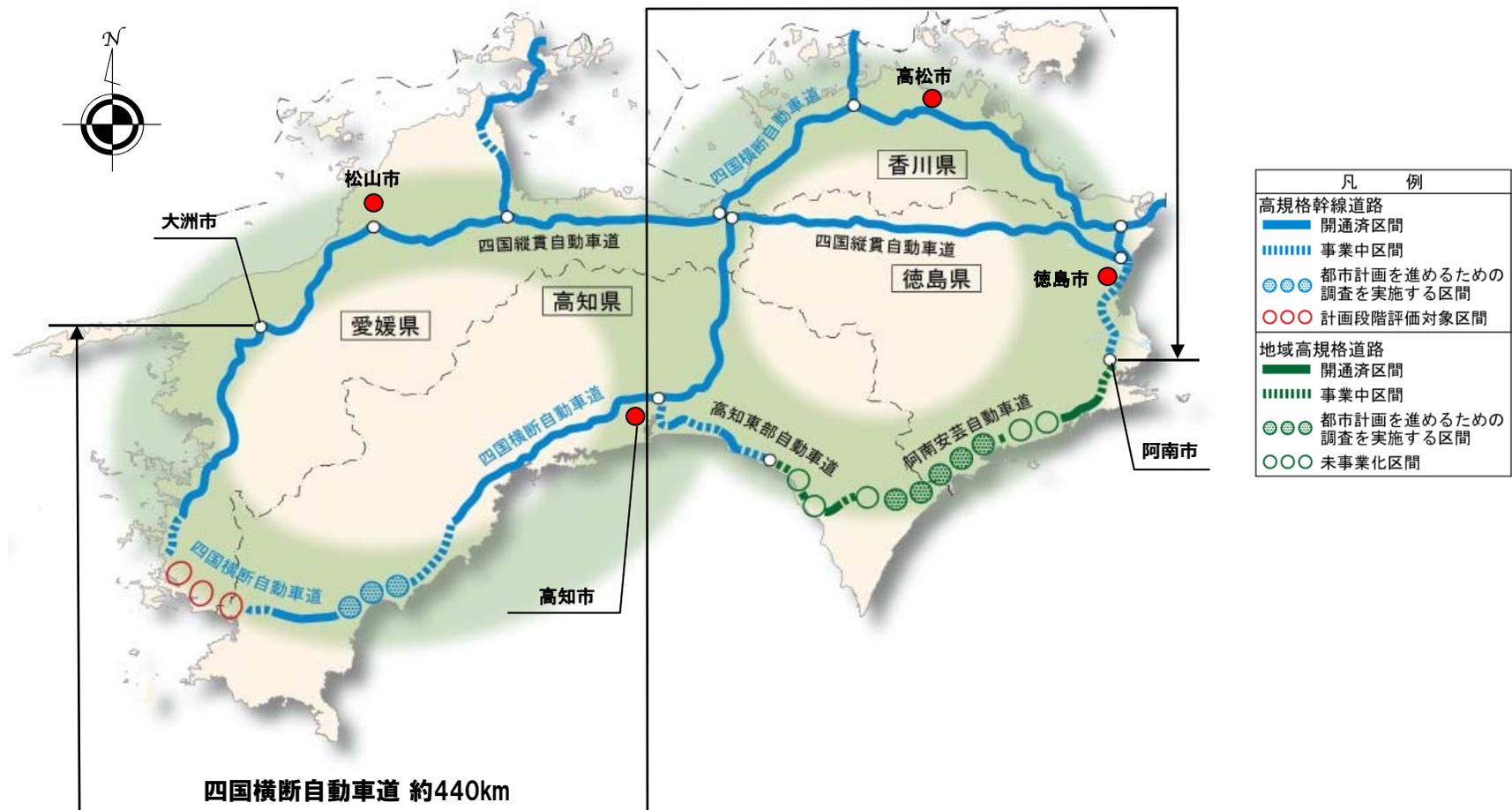
1. 四国の高速道路ネットワーク	・・・	2
2. 地域の概況	・・・	5
3. 地域の状況と課題	・・・	13
4. 道路の状況と課題	・・・	23
5. 課題の整理	・・・	27
6. 意見聴取方法	・・・	32

## 1. 四国の高速道路ネットワーク

# 1-1. 四国横断自動車道の概要

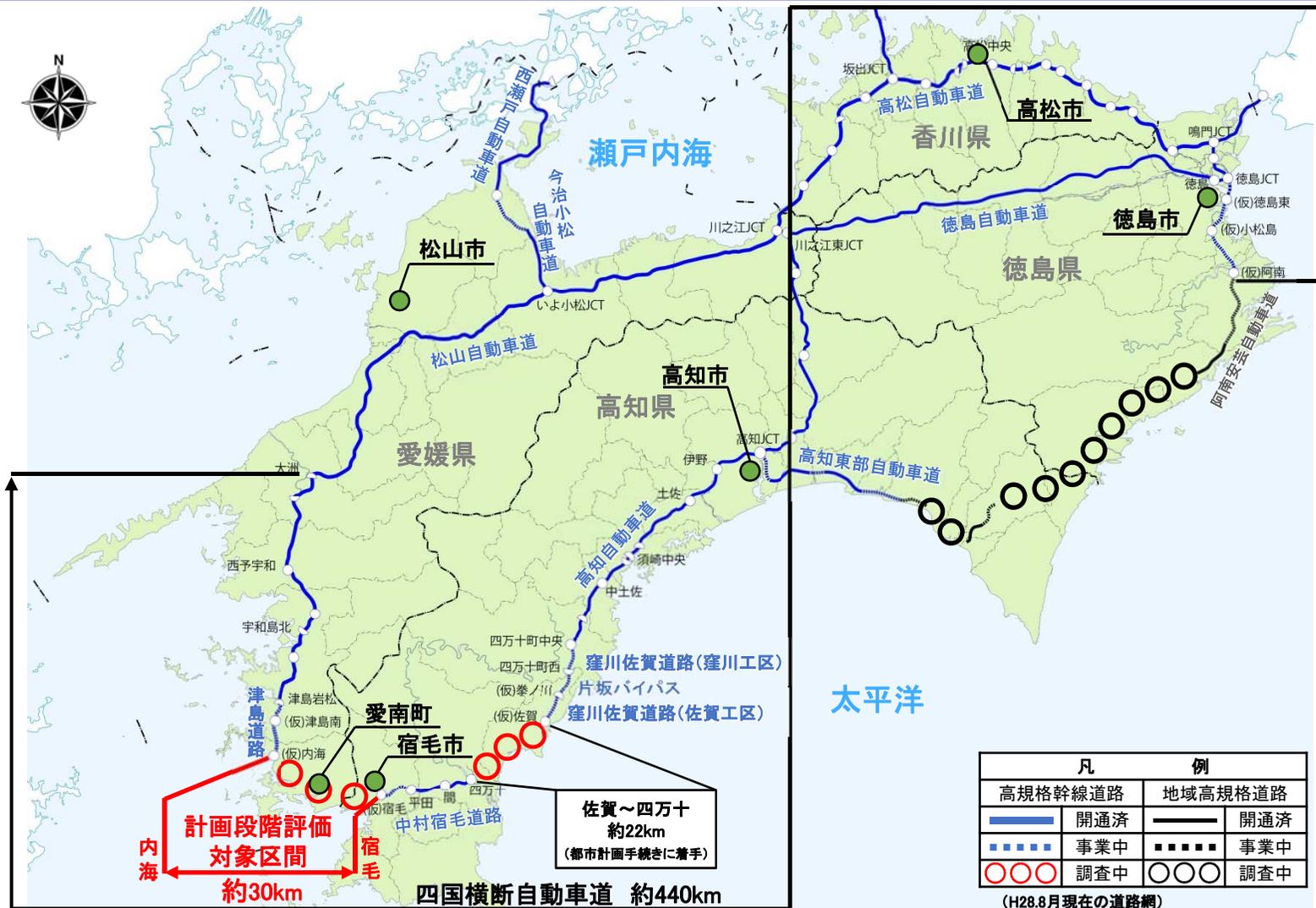
- 四国横断自動車道は、阿南市を起点とし、徳島市、高松市、高知市を経て大洲市に至る国土開発幹線自動車道である。
- 四国縦貫自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道とともに、「四国8の字ネットワーク」を形成する。

## ▼四国的高速道路ネットワーク



# 1-2. 計画段階評価対象区間の周辺状況

- 宿毛～内海間は、高規格幹線道路である四国横断自動車道の一部。
- 四国横断自動車道は、現在、四万十町中央及び津島岩松まで開通しており、窪川佐賀道路、片坂バイパス、中村宿毛道路及び津島道路が工事中である。
- 佐賀～四万十間は、平成27年4月に対応方針(概略ルート、構造等)が決定し、平成28年9月から都市計画手続きに着手している。



## 2. 地域の概況

## 2. 地域の概況(自然環境)

- 宿毛～内海周辺は、四季を通じて温暖で多雨な気候であり、太平洋側気候のうち南海型の特色を有している。
- 当該地域の南側には太平洋、北側には四国最高峰石鎚山に続く四国山地が位置している。
- 愛南町の海岸線はリアス式海岸で、足摺宇和海国立公園に指定されている。また、宿毛湾付近は宿毛県立自然公園に指定されているなど、自然豊かな地域である。

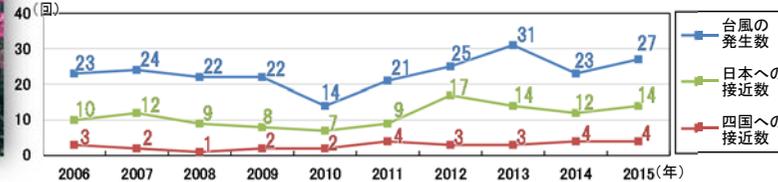


【▽ 咸陽島】



【▽ 篠山】

【地域の台風接近状況(過去10年間)】



【地域の気候状況(2015年)】

地域名(観測所名)	日平均気温(°C)	合計降水量(mm)
愛南町(御荘)	17.2	2293.0
宿毛市(宿毛)	17.5	2321.0
(大阪)	17.2	1648.5
(東京)	16.4	1781.5

出典) 鳥獣保護区……国土交通省国土政策局「国土数値情報(鳥獣保護区H27)」をもとに四国地方整備局が加工  
 宿毛県立自然公園……国土交通省国土政策局「国土数値情報(自然公園地域H18)」をもとに四国地方整備局が加工  
 足摺宇和海国立公園……国立公園(全国)GISデータ(環境省生物多様性センター)をもとに四国地方整備局が加工  
 気候・台風接近状況……気象庁(2015年)  
 国土数値情報は時間的・空間的誤差を伴うものであり、利用することにより生じた損害については利用者がその全ての責任を負うものとし、国土交通省及び出典となる資料の提供者は一切の責任を負わない。

## 2. 地域の概況(土地利用)

- 宿毛～内海周辺は、宿毛市、愛南町に位置し、それぞれ松田川、僧都川の河口付近に広がる平地に市街地が形成。
- 市街地を結ぶ鉄道がなく、幹線道路(緊急輸送道路)は国道56号のみ。
- 工業団地は宿毛湾港のほか、一本松地区に立地している。



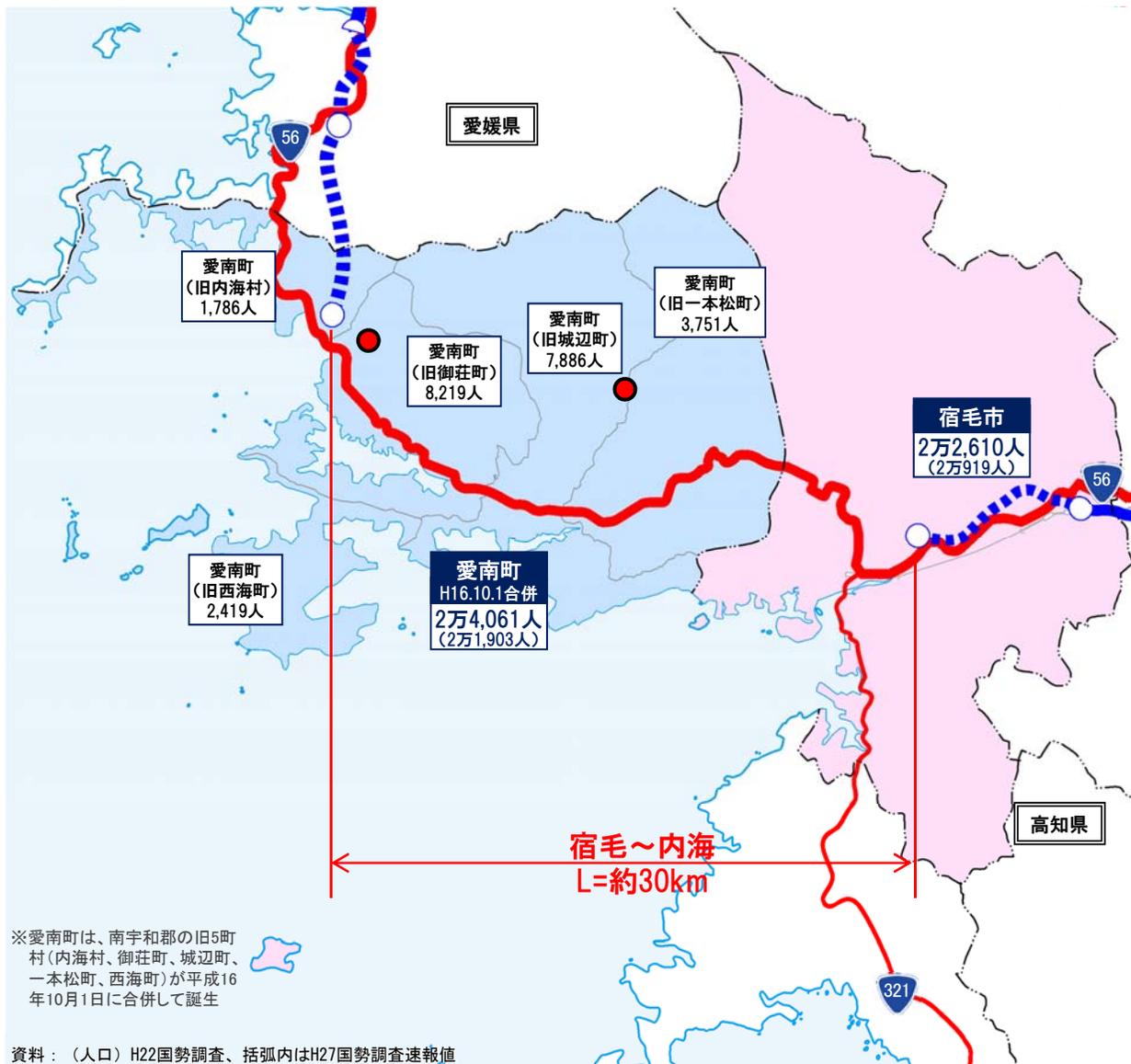
凡例	
	市街地・集落
	工業団地
	足摺宇和海国立公園
	津波浸水想定区域

出典) 市街地・集落…………… 国土交通省国土政策局「国土数値情報(都市地域H18)」をもとに四国地方整備局が加工  
工業団地…………… 国土交通省国土政策局「国土数値情報(工業用地H21)」をもとに四国地方整備局が加工  
足摺宇和海国立公園…… 国立公園(全国)GISデータ(環境省生物多様性センター)をもとに四国地方整備局が加工  
国土数値情報は時間的・空間的誤差を伴うものであり、利用することにより生じた損害については利用者がその全ての責任を負うものとし、国土交通省及び出典となる資料の提供者は一切の責任を負わない。

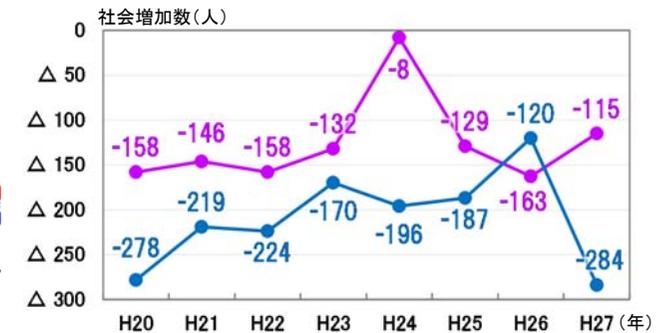
## 2. 地域の概況(人口分布)

- 宿毛市から愛南町に至る1市1町からなる沿線地域の人口は約4万人(H27国勢調査速報値)。
- 宿毛市、愛南町ともに転出が転入を上回る。

【沿線地域の人口分布】



【宿毛市・愛南町の社会動態の推移】



※ 社会動態とは、一定期間における転入・転出に伴う人口の動きを指す

※ 社会増加数=転入数-転出数

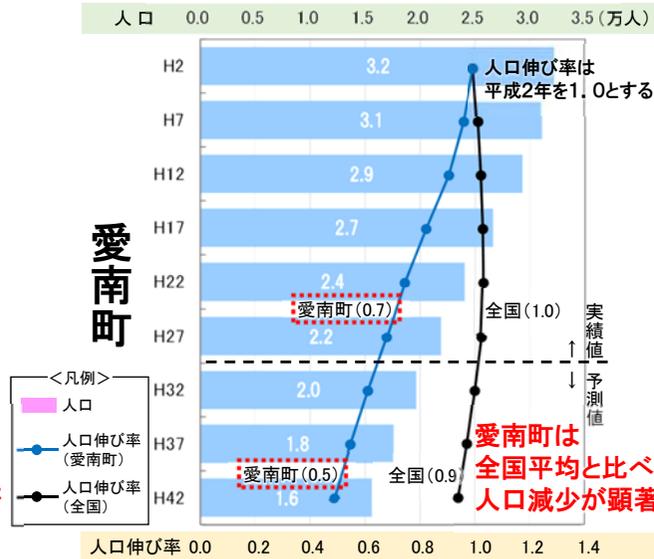
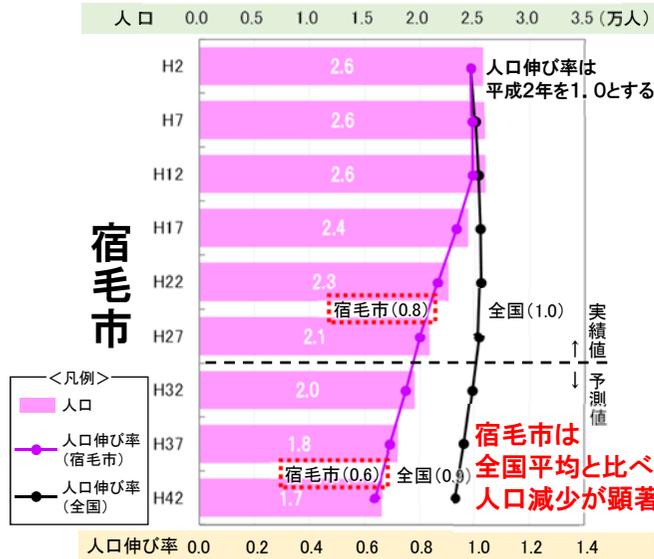
< 凡 例 >  
● 宿毛市  
● 愛南町

資料：【宿毛市】宿毛市HP「宿毛市人口推移」  
【愛南町】愛南町役場より提供

## 2. 地域の概況(人口推移)

○沿線地域(宿毛市～愛南町)では全国に比べ人口減少及び高齢化が著しい。

### 【人口と人口伸び率の推移】



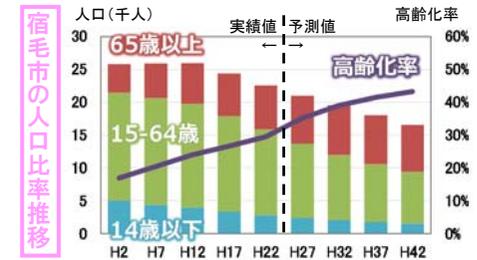
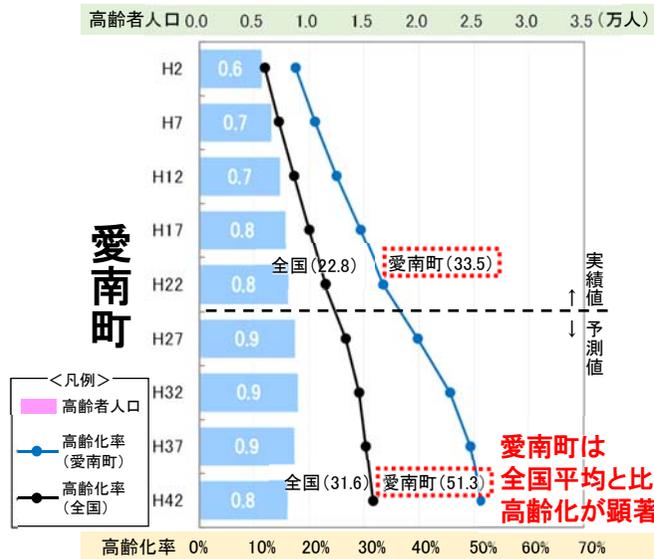
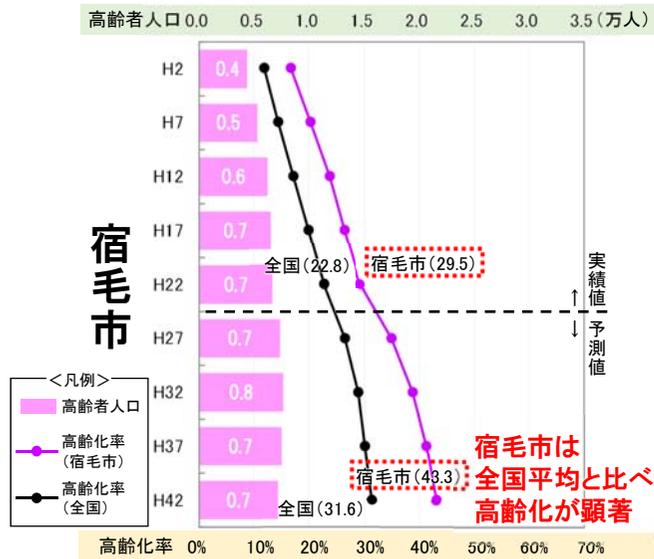
### 人口と人口伸び率の推移

出典:【実績値】H22国勢調査、H27国勢調査速報値(総務省)  
【予測値】日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)  
(国立社会保障・人口問題研究所)

### 高齢者人口と高齢化率の推移

出典:【実績値】「国勢調査」総務省  
【予測値】「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」  
(国立社会保障・人口問題研究所)

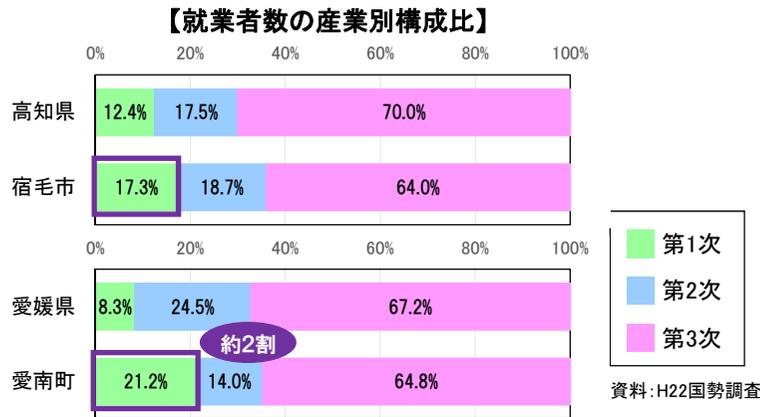
### 【高齢者人口と高齢化率の推移】



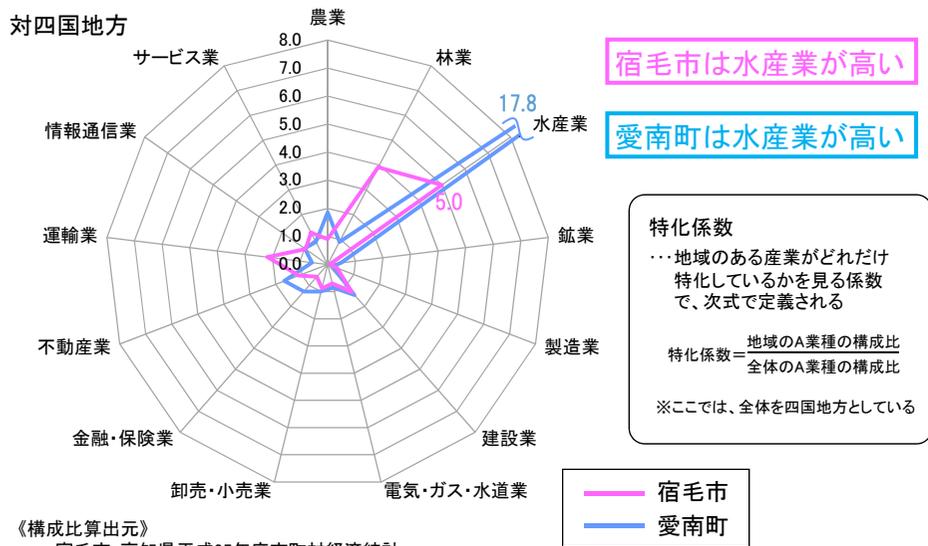
## 2. 地域の概況(産業動態)

- 就業者数の産業別構成比は、宿毛市は高知県全体と比べて第1次産業の割合が高い。愛南町も第1次産業の割合が約2割と愛媛県全体に比べ高い。
- 宿毛市・愛南町の産業別特化係数はともに水産業が最も高い。
- 養殖魚収穫量は宿毛市は県内1位、愛南町は県内2位であり、養殖魚類はマダイ及びブリ類が多い。

### 【宿毛市・愛南町における産業の状況】



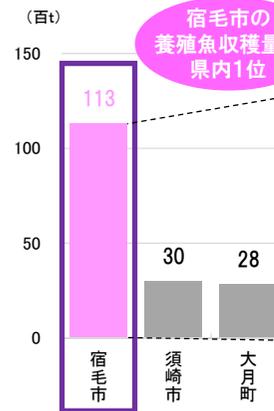
### 【宿毛市・愛南町における産業別特化係数】



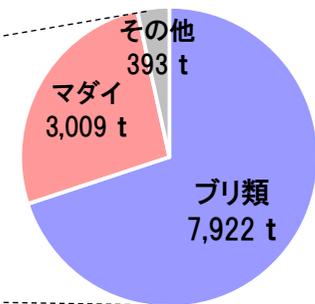
《構成比算出元》  
宿毛市: 高知県平成25年度市町村経済統計  
愛南町: 平成25年度愛媛県市町民所得統計  
(※四国地方は上記とあわせH25とした)

### 【主要産業の県内の位置づけ】

#### ▼ 養殖魚収穫量(高知県)

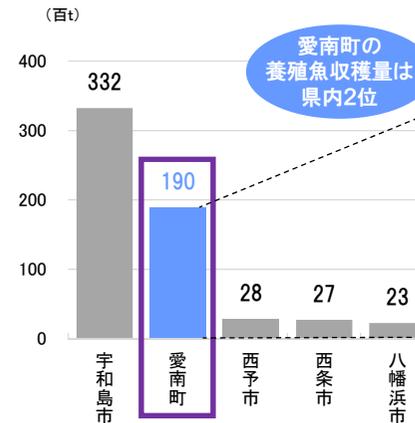


#### ▼ 宿毛市の養殖魚収穫量内訳

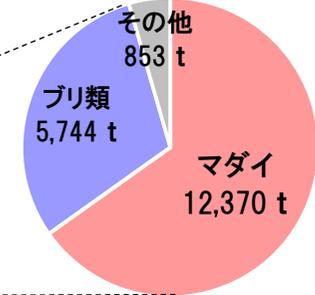


資料: H26海面漁業生産統計調査

#### ▼ 養殖魚収穫量(愛媛県)



#### ▼ 愛南町の養殖魚収穫量内訳



資料: H26海面漁業生産統計調査

## 2. 地域の概況(宿毛湾港)

- 宿毛湾港は、国際海上輸送網または国内海上輸送網の拠点となる重要港湾に位置づけられている。
- 池島地区(宿毛新港)には、大型クルーズの着岸可能な水深13m岸壁が整備されるとともに、背後には生産・物流拠点である宿毛湾港工業流通団地が位置している。
- 片島地区では耐震岸壁、池島地区では防波堤等の整備が進められている。

### 【宿毛湾港の位置】



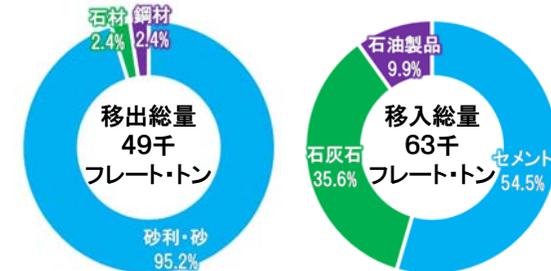
### 【宿毛湾港の概要】

#### (重要港湾)宿毛湾港

- 港湾区域: 1,960ha
- 内航フェリー航路: 佐伯港(大分県)
- その他内航定期航路: 母島-弘瀬-鶴来島うくるしま

※ 重要港湾とは、国際海上輸送網または国内海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾

#### 宿毛湾港の取扱貨物量



出典: 四国地方整備局港湾空港部

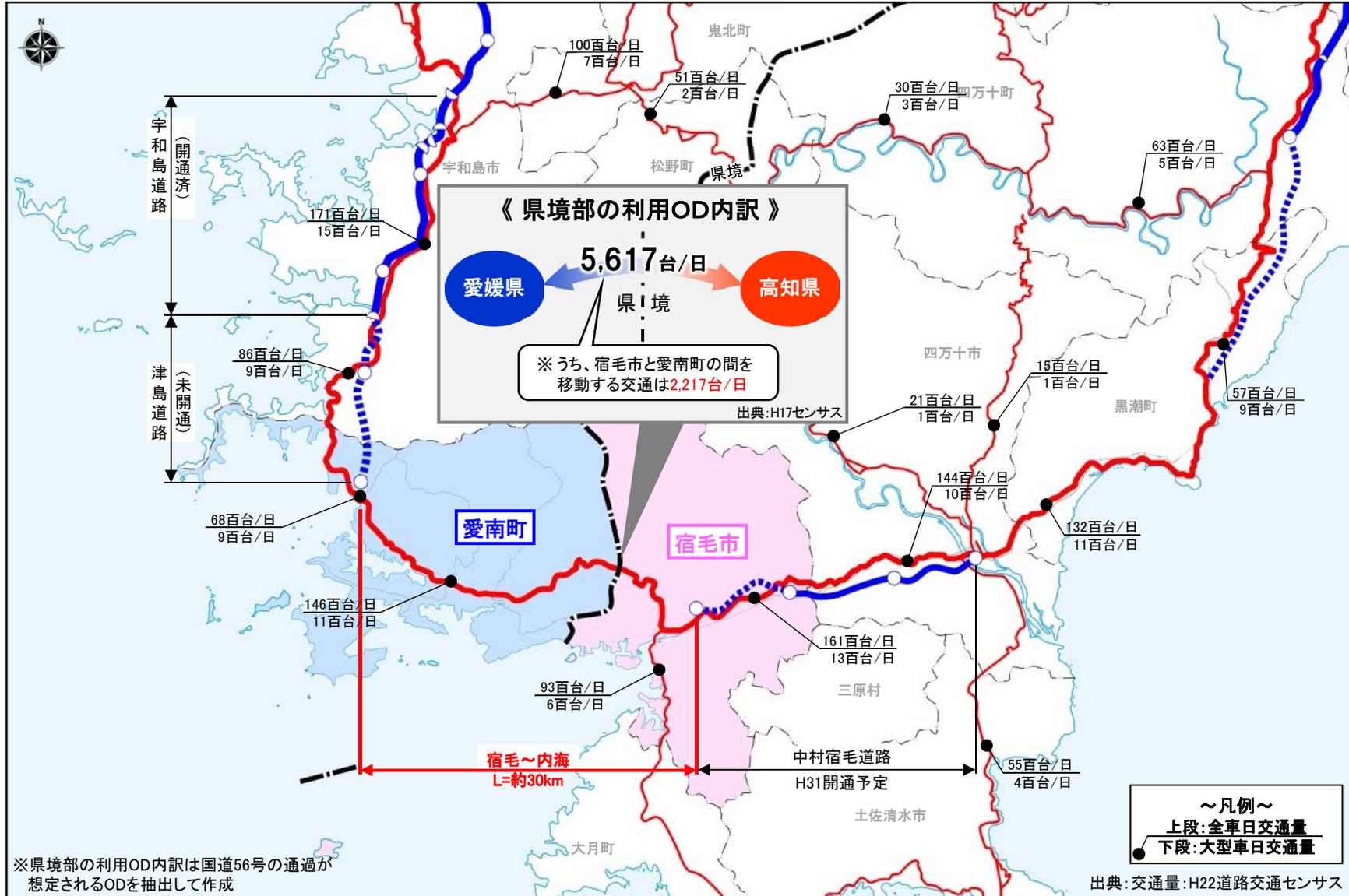
### 【宿毛湾港工業流通団地の概要】

- 事業主体: 高知県
- 総面積: 約52ha
- 宿毛湾港池島岸壁に隣接
- 水深13m他3バース整備、4万tクラスの大型船舶着岸にも対応可能
- 7haの埠頭用地を有し、団地との連携により多種にわたる原材料や製品の輸送にも対応
- 対象施設: 生産施設、物流施設
- 宿毛駅から約4km(車で約10分)

## 2. 地域の概況(交通流動)

- 国道56号の県境部付近において高知県と愛媛県の間を移動する交通は5,617台/日程度存在している。
- そのうち、宿毛市と愛南町の間を移動する交通は2,217台/日程度存在している。

### 【周辺の交通量】



※県境部の利用OD内訳は国道56号の通過が想定されるODを抽出して作成

### 3. 地域の状況と課題

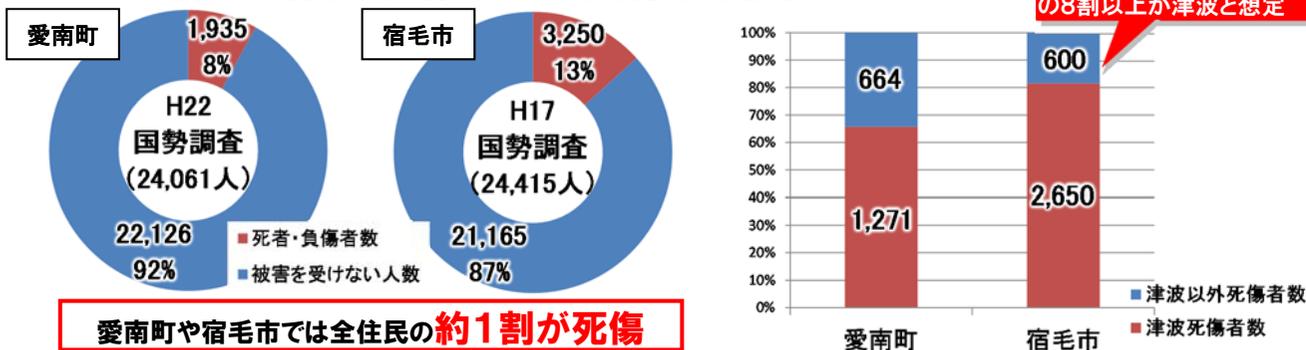
### 3. 地域の状況と課題 (1)南海トラフ地震時の津波浸水

- 南海トラフ地震時に発生する最大津波高は、愛南町で16m、宿毛市で25mと予測されている。
- 愛南町・宿毛市では「全住民の約1割が死傷」と想定され、その多くが津波による被害と想定されている。
- 国道56号の宿毛～内海間では、津波により約2割が浸水(最大浸水深約7m)すると予測されている。

#### ▼国道56号(宿毛～内海間)の約2割が津波浸水



#### ▼南海トラフ地震による愛南町・宿毛市の津波浸水被害想定



**愛南町や宿毛市では全住民の約1割が死傷**

出典:被害想定 H25.5.15「[高知県版]南海トラフ巨大地震による被害想定について」公表資料(死者数最大ケース)、H25.12「愛媛県地震被害想定調査最終報告」(被害最大ケース)

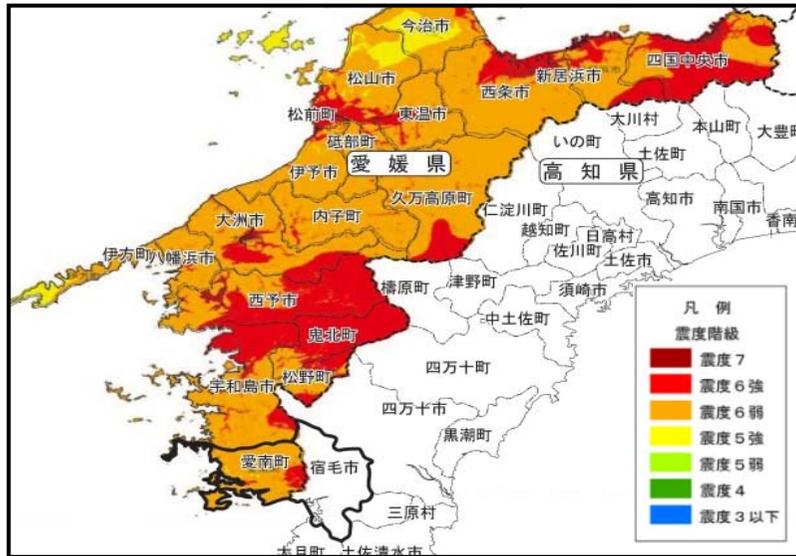


出典:高知県南海トラフ地震長期浸水対策の検討(宿毛市\_平成27年3月検討結果)

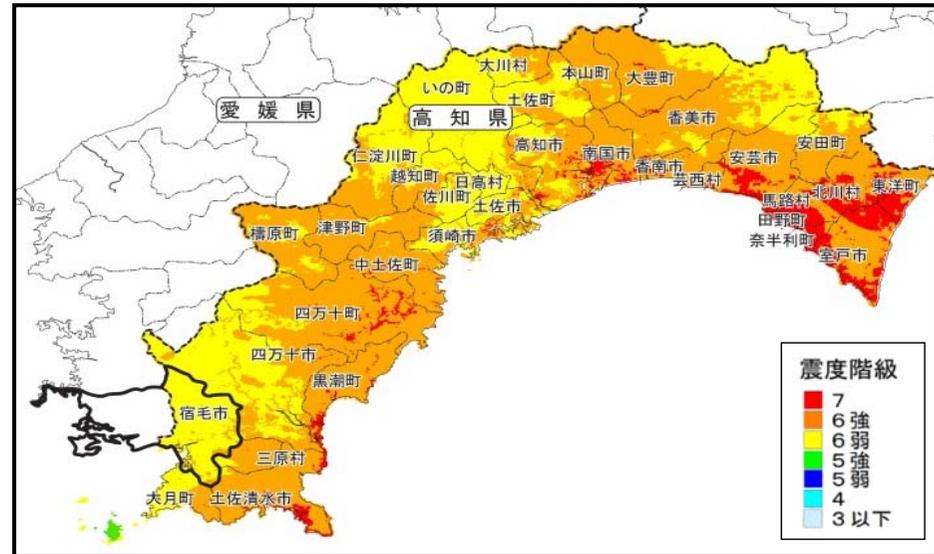
### 3. 地域の状況と課題 (2)南海トラフ地震時の家屋倒壊

○南海トラフ地震により、愛南町では最大震度7、宿毛市では最大震度6弱が予測されている。  
 ○愛南町では「建物は2割以上が全壊・焼失」、宿毛市では「建物は4割以上が全壊・焼失」と想定されている。

#### ▼南海トラフ地震の震度分布図



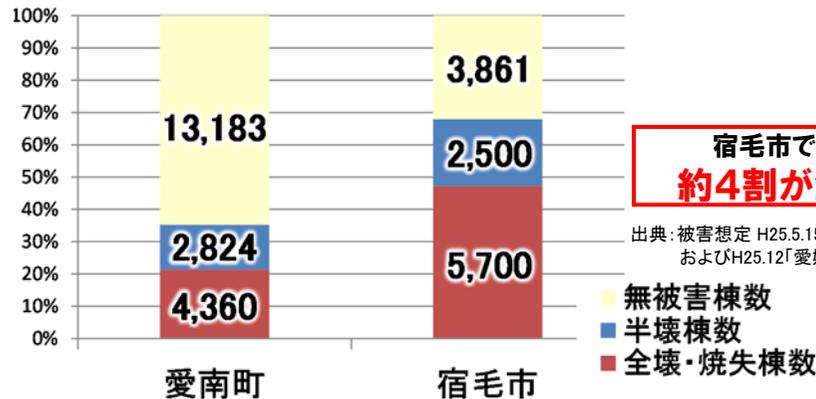
【愛媛県の震度分布図】



【高知県の震度分布図】

#### ▼南海トラフ地震による愛南町・宿毛市の被害想定

**愛南町では最大震度7、宿毛市では最大震度6強を想定**



**宿毛市では全建物の約4割が全壊・焼失**

出展：震度分布図 H24.12.10「【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」およびH25.6.10「愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)について」公表資料

出典：被害想定 H25.5.15「【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定について」公表資料(死者数最大ケース)およびH25.12「愛媛県地震被害想定調査最終報告」(被害最大ケース)

### 3. 地域の状況と課題 (3)災害時の避難・救援

- 当該地域では地震・津波発生時に、宇和島方面や四万十方面からの陸上ルートや宿毛湾港からの海上ルートによる救助・救援・物資輸送が想定されている。
- 愛南町や宿毛市では、南海トラフ地震時の被害軽減に向け、防災拠点施設の整備が進められており、高台(避難拠点)や宿毛湾港(防災拠点港)等の防災拠点施設への円滑なアクセスが今後の課題となっている。

#### ▼愛南町・宿毛市の津波浸水予測域と防災まちづくり計画



出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間(R56) H24.12.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について およびH25.6.10「愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)」について公表資料を基に作成

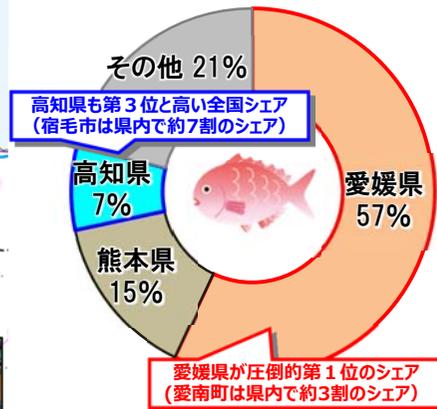
### 3. 地域の状況と課題 (4)水産業

- 愛南町・宿毛市は全国的な養殖マダイの生産地であるが、高規格道路が整備されていない宿毛市の全国シェアは3年間で7%から5%へ低下するなど減少傾向。
- 地域ブランド戦略(びやびやかっお、直七真鯛、本マグロ、媛貴海 等)による高付加価値化や販路拡大を進めているが、線形不良箇所による品質低下や鮮度保持のための輸送時間短縮などが、物流面での大きな課題。

#### ▼水産物の輸送に時間を要する四国西南地域



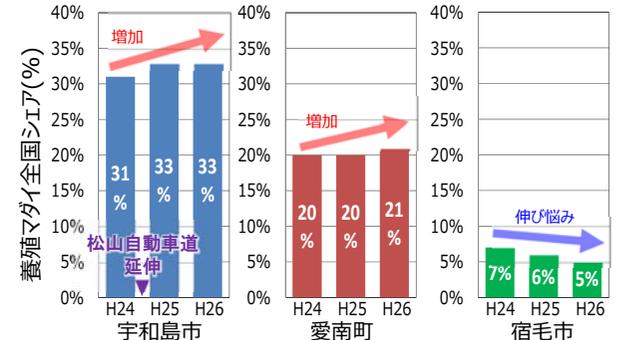
#### ▼養殖マダイ生産量全国シェア(H26)



出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」H26年確報

#### ▼当該地域周辺の養殖マダイの生産量

高規格道路の延伸に伴い、延伸部近辺の宇和島市及び愛南町の生産量は増加傾向。一方、高規格道路の延伸部から遠い宿毛市は伸び悩んでいる。



出典：農林水産省「海面漁業生産統計調査」H26年確報

#### ▼水産物の高付加価値化や配送の効率化等への取り組み

- 養殖マダイに加え活魚流通に適し高単価が期待できる養殖魚(クエ、スズキ等)の取り扱いを開始
- 運送業者と連携し、出荷当日夕方配送の輸送ルートがない首都圏に対し、朝締め高鮮度等を売りとした航空便等を活用する新たな物流ルートの構築
- 行政機関と連携し、当地区が販売する生水産物(マダイ、ブリ等)、冷凍切り身類等について販路拡大を目指し大都市圏で開催される商談会に出展
- 水揚げ後の流通販売の取組も強化し、鮮度保持や新たな物流ルートを構築することで、鮮魚の商品価値を高める
- 養殖業の振興としては、養殖魚のブランド化や輸出に挑戦し、付加価値向上や価格安定化を目指す

出典：愛南地区地域水産業再生委員会「愛南地区 浜の活力再生プラン」H26年度公表  
宿毛湾水産業再生委員会「宿毛湾 浜の活力再生プラン」H25年度公表

#### ●水産業関係者の声

- ・愛南町の水産業としては、**鮮魚が重要な資源**。(愛南町 水産課)
- ・トラックで遠距離輸送しているが、鮮度維持のため長時間の輸送はできない。雪や事故で通行止めになった場合に影響が大きく、**時間短縮・定時性確保**が課題。(愛媛県 農林水産部 水産局 漁政課)
- ・高速道路の整備による時間短縮により、特にかつおの物流では、他の漁協(漁場)が遠く翌々日に市場へ出回るのと違いである**鮮度を活かせる**。(愛南漁業協同組合)
- ・高速道路整備による時間短縮効果大きい。早い入札と遅い入札では**単価も違ってくる**。延伸によって地元の繁栄につながる。(すくも湾漁業協同組合)

### 3. 地域の状況と課題 (5) 製造業

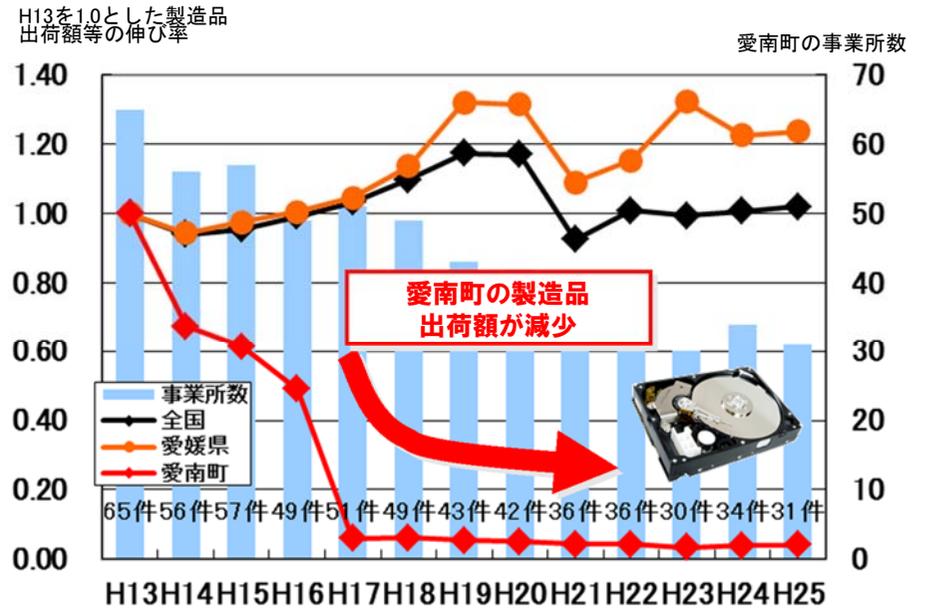
- 愛南町では、一本松地区等に工業用地を有するが、事業所数の減少とともに、製造品出荷額が減少傾向にある。
- 宿毛市には産業団地が2箇所あるが、高知IC周辺の産業団地に比べて稼働率が30%低い状況。
- 愛南町・宿毛市では、企業支援のために整備された環境が十分に活用されておらず、都市部からのアクセス性等の課題が企業進出のネックとなっている。

#### ▼輸送に時間を要する四国西南地域



出典：H27.4～H27.8民間アンケートデータ（上下線平均値）より算出

#### ▼愛南町の製造品出荷額は減少傾向



出典：経済産業省工業統計調査結果

#### ●関係者の声

・企業進出誘致活動を行う中で、相手先企業からは、「**高速道路が無いのがネックである。**」や、「**輸送に時間がかかるので、立地はできない。**」といった課題を指摘されることから、高速道路整備による輸送時間の短縮が企業進出の大きなカギになると考える。

～高知県企業立地課ヒアリング(H25.5)～

・今後の製造業を含めた産業振興には、**物資輸送拠点である宿毛湾港を活用することが重要**と考える。

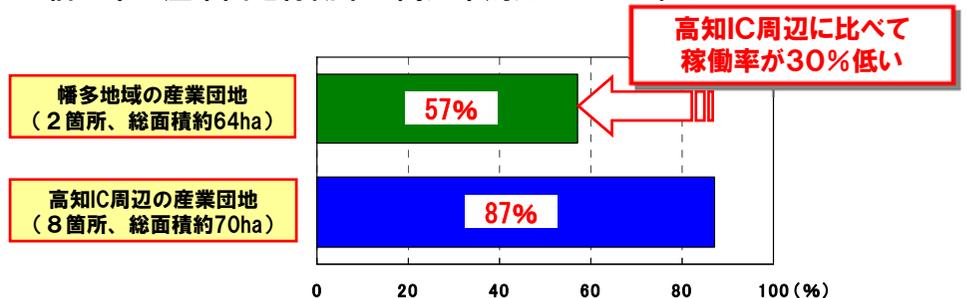
～宿毛市商工観光課ヒアリング(H28.9)～

・誘致を考える面で**最大の壁は交通の便**である。道路が国道56号だけでは、迅速な物流システムを構築できない。現状では、何とか今ある企業を引き留めるのが精いっぱいである。

～愛南町ヒアリング(H28.9)～



#### ▼宿毛市の産業団地稼働率は高知市周辺に比べて低い



※稼働率は総面積に対して稼働している面積割合を示す  
出典：H25.6.12 高知県企業立地課ヒアリング結果、H25.5.31 宿毛市ヒアリング結果

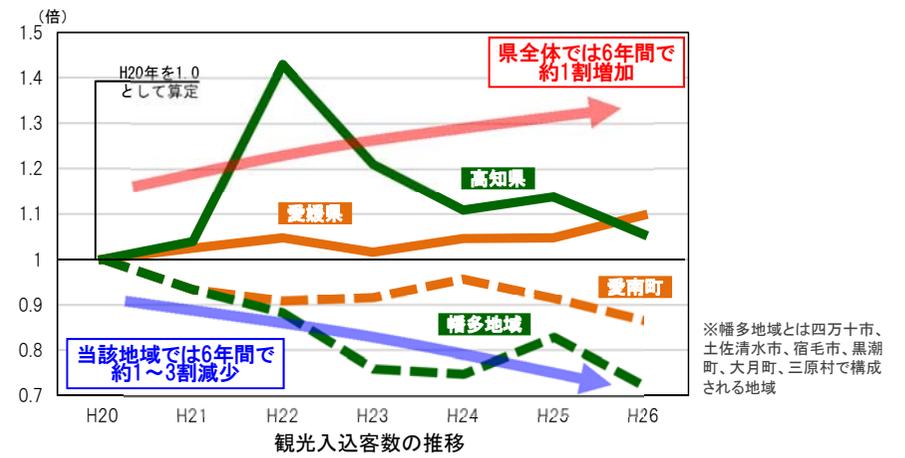
### 3. 地域の状況と課題 (6)観光振興(広域周遊)

- 宿毛～内海周辺地域(四国西南地域)には足摺宇和海国立公園等の観光資源があり、広域観光周遊ルート「スピリチュアルな島～四国遍路～」の一部を形成。
- 一方、愛南町・幡多地域の観光客数の伸び率(減少率)は、愛媛県・高知県全体の観光客数の伸び率よりも低く、平成20年から約1～3割減少。
- 国際定期便を有する松山空港から宿毛市へのアクセスには2時間以上が必要。

#### ▼四国西南地域の観光状況



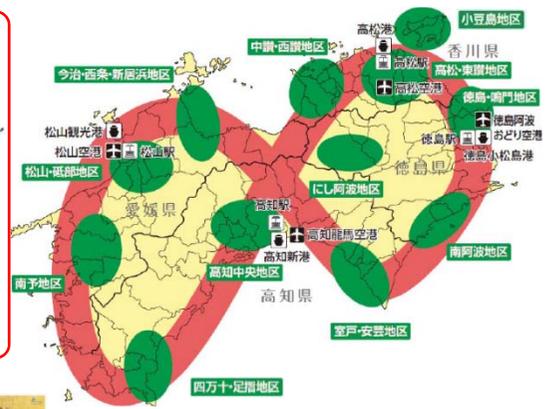
#### ▼当該地域の観光入込客数は伸び悩んでいる



#### ▼観光庁の推進する広域観光周遊ルート

**「スピリチュアルな島～四国遍路～」**

- 四国遍路とお接待の心の文化
- 日本の原風景が残る未知なる観光地
- 1200年の歴史や文化に触れる旅
- 2020年までに四国4県外国人延べ宿泊者数を2013年の3倍にあたる66万人泊へ



出典:「広域観光周遊ルートについて」(国土交通省 観光庁)

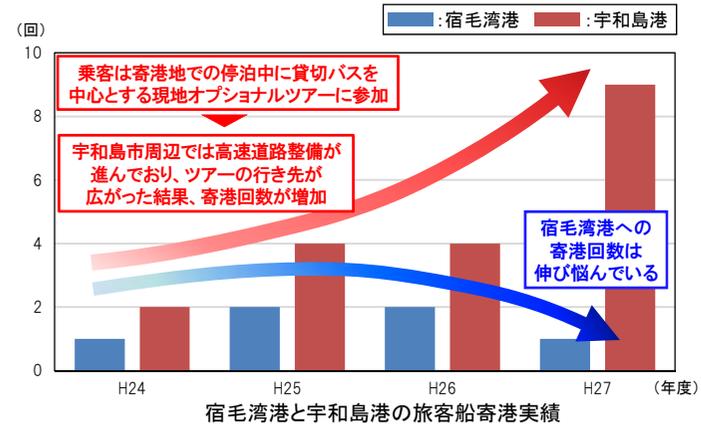
### 3. 地域の状況と課題 (7)観光振興(クルーズ観光)

- 宿毛湾港は、周辺に四万十川や足摺岬といった観光名所を周遊するコースを有し、クルーズ客船の寄港地であるなど、四国西南地域の広域観光ネットワークの拠点として重要な役割を担っている。
- 周辺の高速道路整備が進んでいる宇和島港の旅客船寄港回数が増加傾向にある一方、周辺の高速道路ネットワークが繋がっていない宿毛湾港の旅客船寄港回数は伸び悩んでいる。

#### ▼四国西南地域の観光状況



#### ▼宇和島港と宿毛湾港の比較



	宿毛湾港	宇和島港
停泊時間	7時間～10時間	4時間～6時間
ツアー先	宿毛市、四万十市 土佐清水市、大月町、西予市	宇和島市、内子町

出典：宿毛湾港・・・高知県(H24～H27ツアー実績)  
宇和島港・・・クルーズ運営会社/パンフレット

#### ▼四国西南地域の観光振興を目指す取り組み

##### ■ 四国西南地域観光連絡協議会

- 《 関係県・市町村 》  
愛媛県、高知県、宇和島市、愛南町、松野町、鬼北町、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町
- ・ 四国西南地域の広域周遊観光ルートの提案などの観光振興活動を実施

##### ■ 四国ツーリズム創造機構

- ・ 平成22年度から「第1次四国観光交流戦略」において四国西南地域を重点着地エリアと定め、誘客キャンペーンや県域をこえた新たな観光ルートの策定などを実施

### 3. 地域の状況と課題 (8)医療(第三次救急医療機関へのアクセス)

- 当該地域(愛南町、宿毛市)には、最近傍の第三次救急医療機関に1時間以内に到達できない人口が、約2.5万人(約54%)存在している。
- 国道56号には、急カーブや急勾配箇所が多数あり、搬送時の患者の負担となっている。

#### ▼第三次救急医療機関へ1時間で到達できないエリアが存在



- 愛南消防署(H25.1月実施ヒアリングより)
  - ・バイパスができれば、現道よりもカーブが緩いため、心臓マッサージ等の処置はしやすくなる。
- 市立宇和島病院(H26.11月実施ヒアリングより)
  - ・脳血管、心血管に係る症例については発症から治療までの時間が、命を守り後遺症を防ぐ鍵となるため、搬送時間は短ければ短いほど良い。

※撮影協力: 宇和島地区広域事務組合消防本部

#### ▼宿毛市から県内の第三次救急医療機関への移動は約2時間も必要



#### ▼国道56号には急カーブ箇所や急勾配箇所が多数存在



### 3. 地域の状況と課題 (9)医療(管外搬送人員増加)

- 愛南町の救急医療は、医師不足のため、管外(宇和島市や宿毛市)の医療施設に頼っている状況。
- 愛南町から宿毛市への搬送は、県(愛媛県・高知県)で定められた医療圏域を越える管外搬送となるが、宿毛市と愛南町では消防相互応援協定を結んで対応している。
- 愛南消防署の救急搬送の内、管外への救急搬送は、年間226人で高止まり。

#### ▼愛南町から管外(宇和島市や宿毛市等)医療機関への搬送状況

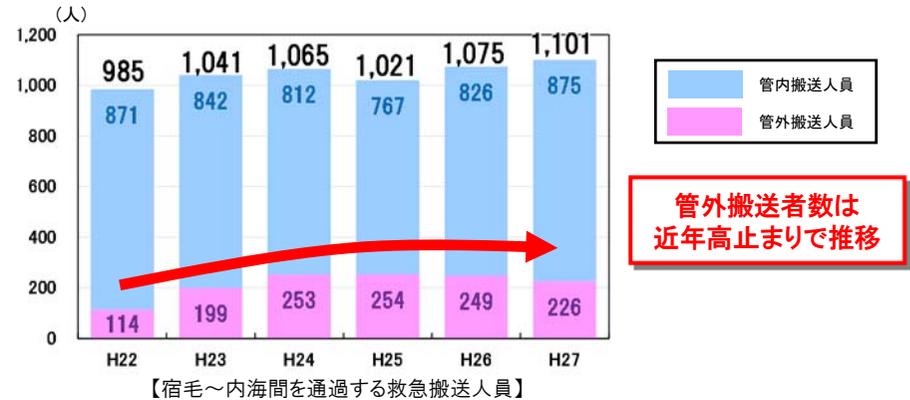


●県立南宇和病院(H26.10月実施ヒアリングより)  
 ・当院は、2次救急病院となっていますが、常勤医が少なく、中でも麻酔科医および外科医が不在なことから、市立宇和島病院や幡多けんみん病院へ搬送されるケースも多い状況です。  
 ●市立宇和島病院(H26.11月実施ヒアリングより)  
 ・宇和島圏域の医師不足については解決する見通しが立たないので、今後重症患者の当院への搬送は継続されると思われる。



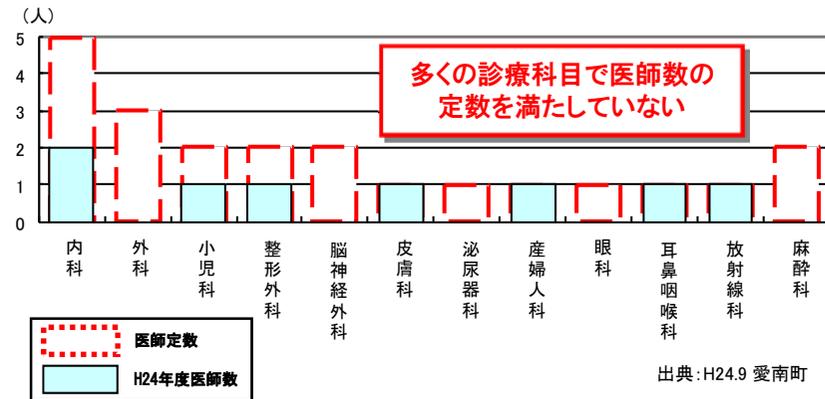
#### ▼愛南町における救急医療の現状

愛南町の救急病院(第二次救急医療施設)は、医師不足により緊急手術に対応できず、管外への救急搬送を余儀なくされている。さらに、愛南町には第三次救急医療施設がなく、心筋梗塞や脳卒中などの重篤な救急患者は、宇和島市の市立宇和島病院に搬送する必要がある。



出典：平成22～27年度版消防年報 愛南町消防本部

#### ▼県立南宇和病院の医師数

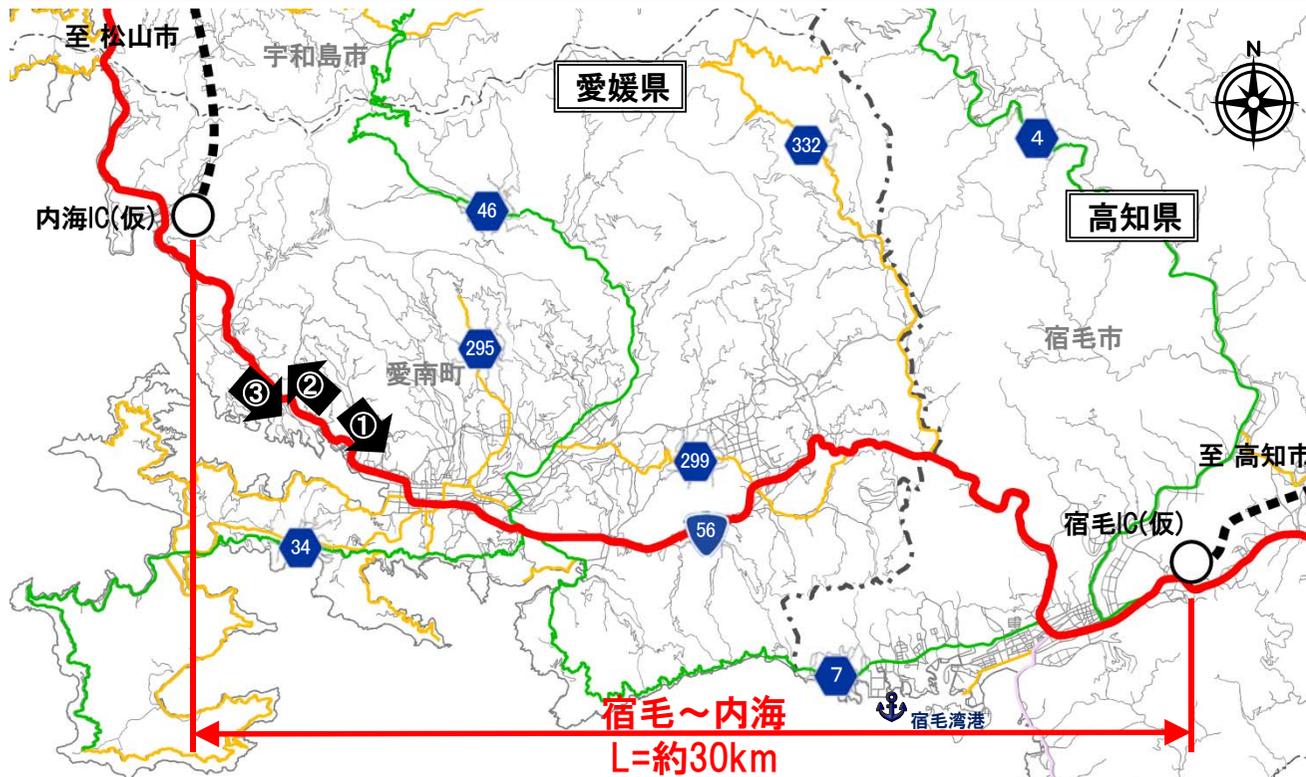


※医師定数は、医療法施行規則第19条に基づく必要な医師数の算定方法に基づいた数値

## 4. 道路の状況と課題

# 4. 道路の状況と課題 (1) 豪雨による通行規制の発生

○当該地域において、過去より災害が発生。平成23年10月には、集中豪雨に伴う甚大な被害が発生。国道56号で、通行規制が発生した。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。  
(承認番号 平28情使、第732号)

■ ■ ■ ■	事業中區間
— (Red)	一般国道 (直轄国道)
— (Pink)	一般国道 (補助国道)
— (Green)	主要地方道
— (Yellow)	一般県道

## ▼国道56号の通行規制状況

全面通行止	片側交互通行	通行規制 計
220時間	104時間	323時間
27回	6回	33回

※通行規制はS45～H26 (45年間) の合計値  
※国道56号の宿毛IC予定地～内海IC予定地間で算出



写真① 国道56号 電柱倒壊  
(H17.9.6台風14号 御荘平城)



写真② 国道56号 道路冠水  
(H23.10.21大雨 御荘菊川)



写真③ 国道56号 土砂崩壊  
(H23.10.21大雨 御荘菊川)

# 4. 道路の状況と課題 (2)災害に脆弱なネットワーク

○国道56号の宿毛～内海間で津波浸水等による通行止めが発生した場合、周辺の道路には、狭幅員区間が多数あり、緊急車両や大型車が通行可能な迂回路が無い。

### ▼迂回路の状況



土砂災害により通行止め

写真① 県道4号線  
(緊急時の迂回路としては脆弱である)

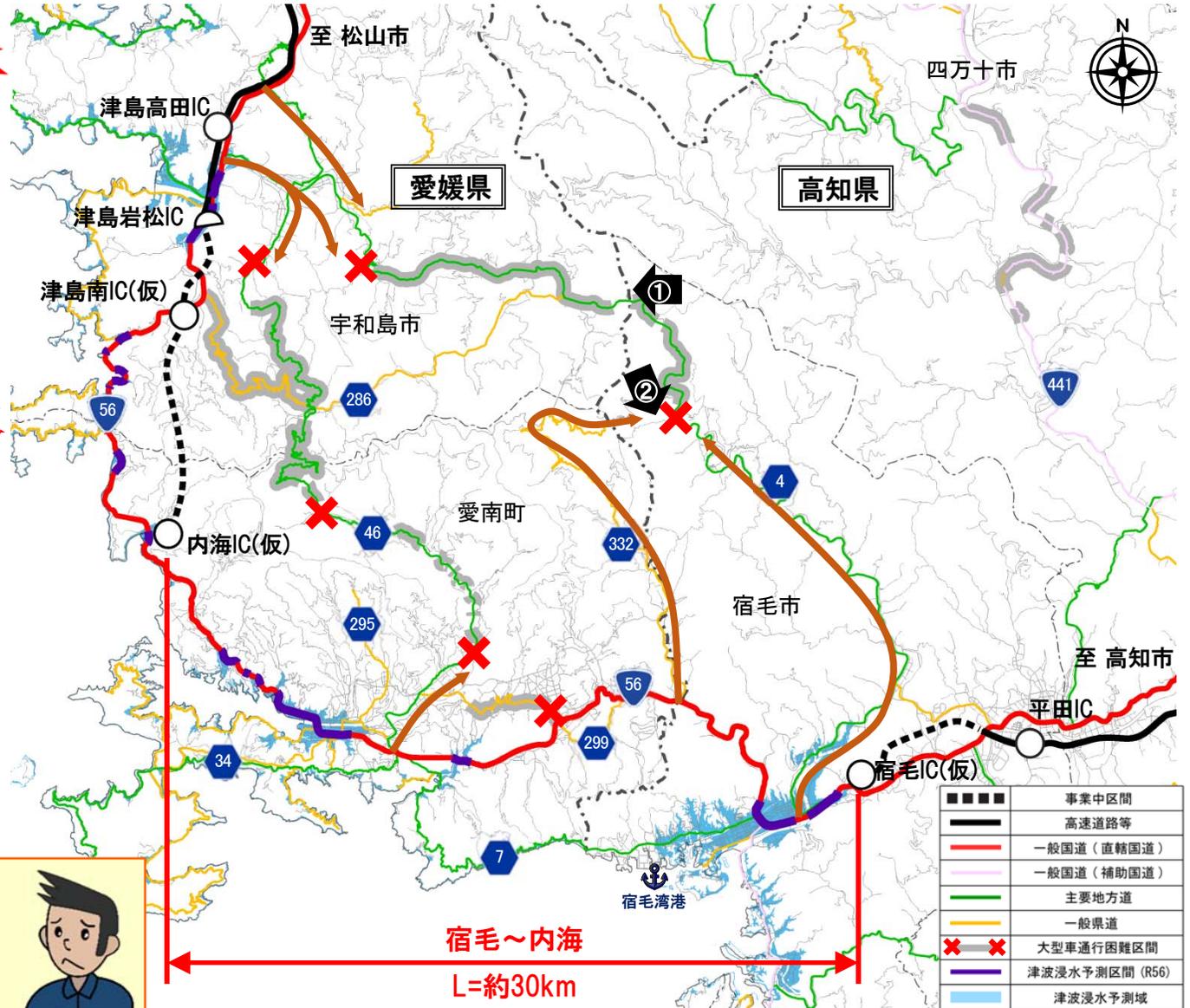


大型車両のすれ違い困難

写真② 県道4号線  
(幅員が狭く、緊急車両や大型車両の通行が困難)

**国道以外の道路は脆弱であり迂回路としての機能はない**

- 宇和島市内の運送会社(H28.7月実施ヒアリングより)
- 愛南町から水産品の輸送をする際に国道56号が通行止めになってしまうと、どうしても広い道路を選んで大回りしなければならない。
- 国道56号の通行止めだけで進むことも戻ることもできなくなり、とても困ったこともあった。



宿毛～内海  
L=約30km

■ ■ ■ ■	事業中区分
—	高速道路等
—	一般国道(直轄国道)
—	一般国道(補助国道)
—	主要地方道
—	一般県道
× ×	大型車通行困難区間
—	津波浸水予測区間(R56)
—	津波浸水予測域

出典:H24.12.10「高知県版第2弾」南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」およびH25.6.10「愛媛県地震被害想定調査結果(第一次報告)について」公表資料を基に作成  
※大型車通行困難区間は、車線数1車線区間を対象とした  
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平28情使、第732号)

# 4. 道路の状況と課題 (3)線形不良による安全走行の阻害

- 国道56号の宿毛～内海間には、事故危険区間が6箇所存在している。
- 当該区間は単路部での事故発生割合が全国平均より高く、見通しの悪い急カーブでの事故発生割合が高い。
- 急カーブ地域・急勾配箇所では活魚輸送時における品質低下が課題となっている。

▼宿毛～内海間には、事故危険箇所が存在  
 四国横断自動車道 宿毛～内海間 L=約30km



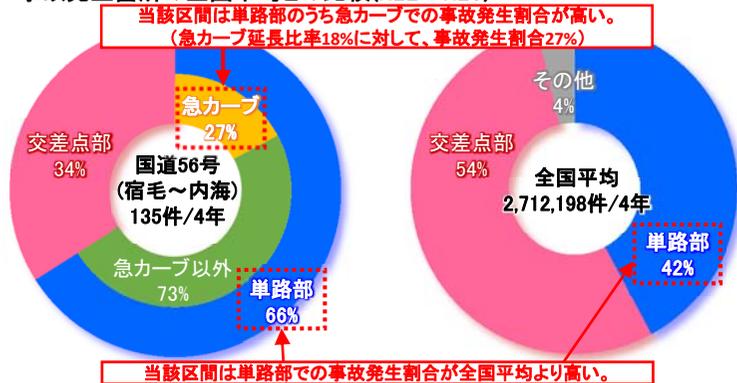
写真①急カーブ箇所での事故(愛南町増田)



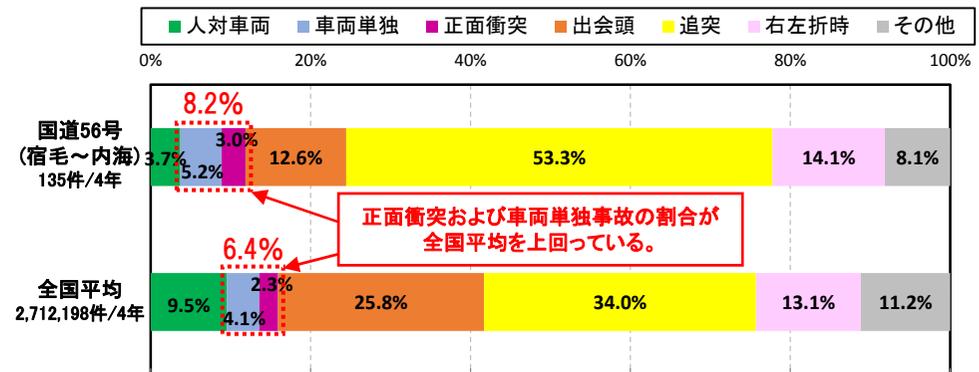
写真②急カーブ箇所での事故(愛南町増田)

## 【国道56号(宿毛～内海間)で発生した事故の状況】

▼事故発生箇所の全国平均との比較(H22～H25)



▼事故類型の全国平均との比較(H22～H25)



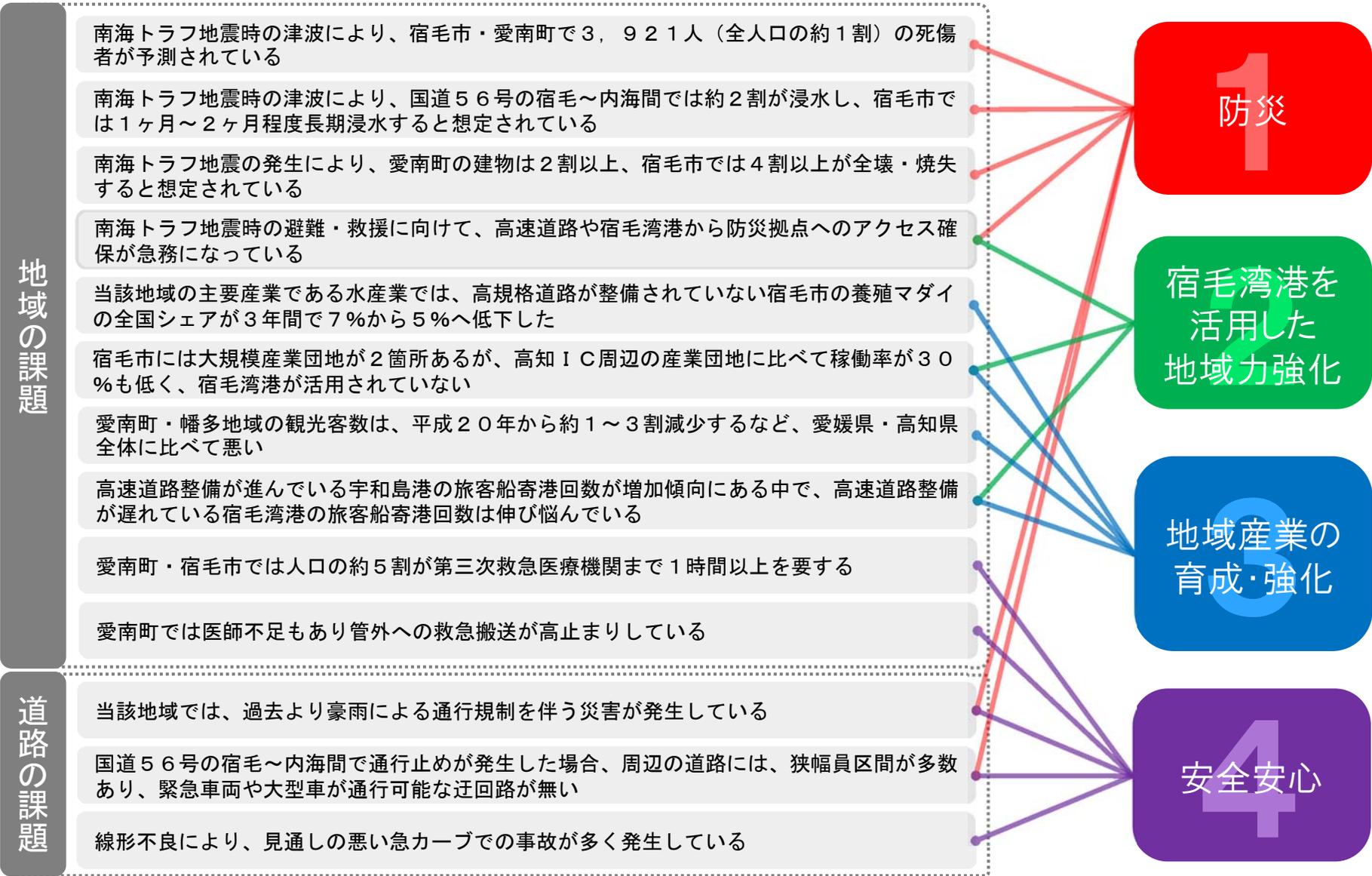
出典 国道56号: 交通事故統合データベース(H22～H25) 全国平均: 警察庁交通局データ(H22～H25)  
 ※急カーブ延長比率: 単路部延長(国道56号(宿毛～内海間)の全区間延長から交差点部延長を引いた値)に対する急カーブ延長の割合

出典 国道56号: 交通事故統合データベース(H22～H25) 全国平均: 警察庁交通局データ(H22～H25)

## 5. 課題の整理

## 宿毛市・愛南町地域では人口減少や高齢化が進展

宿毛市	人口:2.6万人(H2年)→2.3万人(H22年)→1.7万人(H42年)	高齢化率:16.9%(H2年)→29.5%(H22年)→43.3%(H42年)
愛南町	人口:3.2万人(H2年)→2.4万人(H22年)→1.6万人(H42年)	高齢化率:17.6%(H2年)→33.5%(H22年)→51.3%(H42年)



## 防災

- ・南海トラフ地震により、宿毛市と愛南町の約1割が死傷
- ・国道56号の約2割が津波浸水し、宿毛市では1～2ヶ月間長期浸水
- ・愛南町では2割以上、宿毛市では4割以上の建物が全壊・消失
- ・過去より豪雨による通行規制が発生しているが代替路が存在しない

## 宿毛湾港を活用した地域力強化

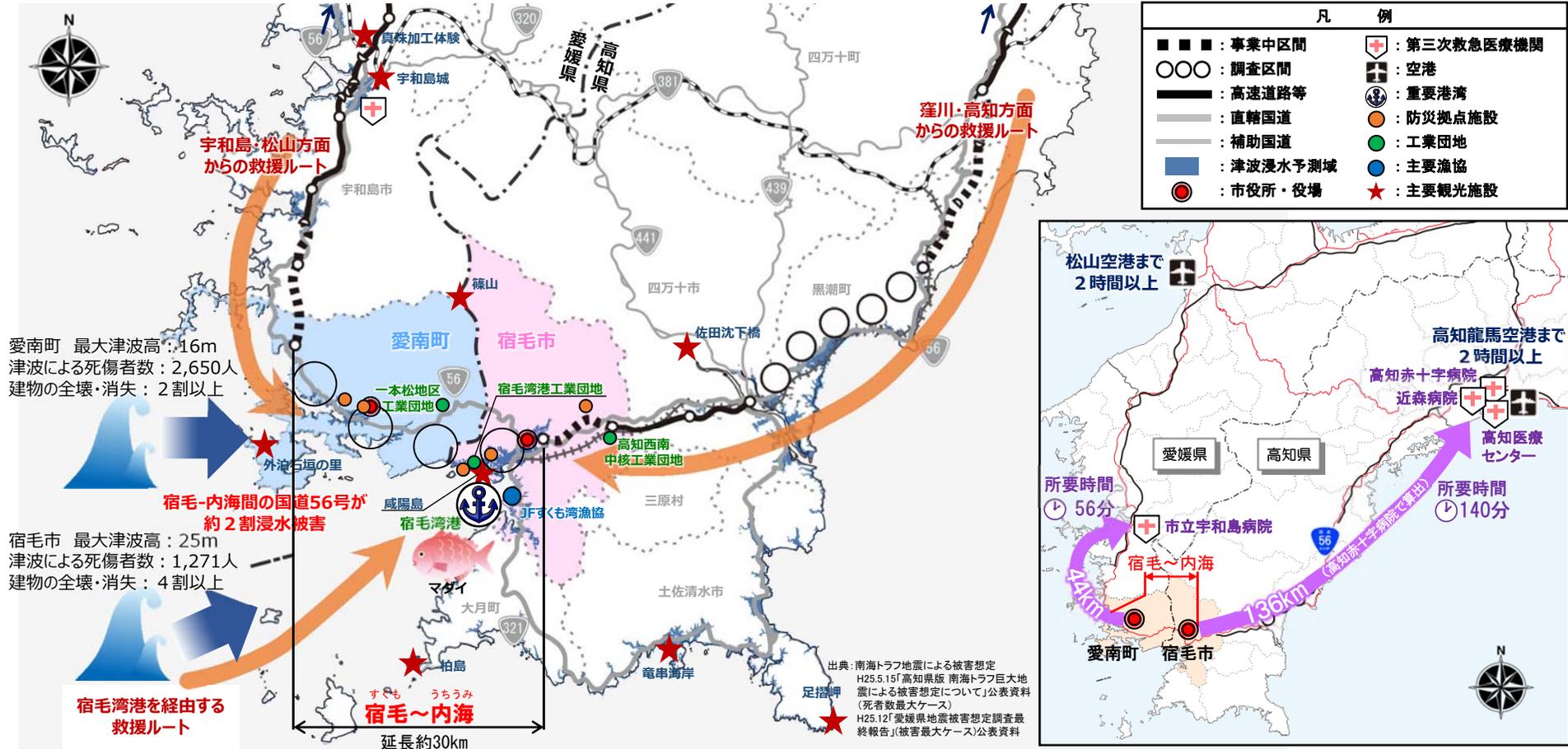
- ・避難・救援時に高速道路や宿毛湾港から防災拠点へのアクセス確保が急務
- ・宿毛市の大規模産業団地は高知IC周辺に比べて稼働率が低く、宿毛湾港が活用されていない
- ・宿毛湾港の旅客船寄港回数が伸び悩んでいる

## 地域産業の育成・強化

- ・宿毛市の養殖マダイの全国シェアが3年間で7%から5%へ低下
- ・愛南町と幡多地域の観光客数は平成20年から約1～3割減少

## 安全安心

- ・愛南町・宿毛市の約5割が第三次救急医療施設まで1時間以上、必要とする
- ・愛南町では医師不足もあり、管外搬送数が高止まりしている
- ・線形不良により、見通しの悪い急カーブでの事故が多く発生している



○宿毛市振興計画および宿毛都市計画区域マスタープランにおいて、まちづくりの方針が整理されている。  
○宿毛市のまちづくりにおいては、高規格道路の整備促進を基本方針として位置付け、地域産業の円滑な物流活動を確保するために、宿毛湾港を利活用できる四国横断自動車道の整備に取り組む方針が示されている。

## 宿毛市の都市づくりの基本理念

「人が輝き、自然がほほえむ都市  
～みんなでつくる元気都市～」

### <基本理念1>

やすらぎと潤いに満ちたまちづくり

### <基本理念2>

明るく活力に満ちたまちづくり

西南地域の広域的な都市サービス機能を担う拠点都市として、中村宿毛道路の供用に伴うインパクトや土佐くろしお鉄道宿毛駅のポテンシャルを活かし、市街地の整備や関連道路網の整備により、都市拠点機能を高めていきます。

### <基本理念3>

安全で人にやさしいまちづくり

### 【交通施設の整備に関する基本方針】

本区域の交通体系は、中心市街地外周部を通過する国道56号(宿毛バイパス)を主軸として構成されています。今後はこれに接続する**広域幹線道路**である中村宿毛道路の**整備促進を図っていきます。**

## 宿毛市の社会資本・生活基盤整備

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 土地利用・都市計画 | 6. 上水道    |
| 2. 住宅環境      | 7. 下水道    |
| 3. <u>道路</u> | 8. 情報通信基盤 |
| 4. 港湾        | 9. 公共施設   |
| 5. 公共交通      |           |

## ○道路の整備方針

### <基本方針>

**地域産業の円滑な物流活動**や、市民の安全で快適な生活環境を確保するために、**高規格道路を含む道路の整備を促進**し、市道については適切な維持管理を行い既存施設の延命化を推進します。

### <計画>

#### ①**四国横断自動車道整備促進**

平成27年度より計画段階評価を進めるための調査に着手する**「宿毛～内海間」**について、**宿毛湾港を利活用できるルートで事業化できるよう、積極的な取り組みを行い整備を促進**します。

#### ②**一般国道、県道の整備促進**

#### ③**市道の整備・延命化の推進**

○愛南町総合計画および愛南都市計画区域マスタープランにおいて、まちづくりの方針が整理されている。  
○愛南町のまちづくりにおいては、高規格幹線道路を観光・広域交流・緊急輸送道路のための広域道路ネットワークとして位置付け、移動時間の短縮や安全で快適な通行を目的として高速道路の延伸に取り組む方針が示されている。

## 愛南町のまちづくりの基本理念

「人と自然が共生し、  
愛あふれる健康定住都市 愛南」

＜地域毎の市街地像＞

- (1) 日常生活の中心となる生活拠点
- (2) 工業や流通業務の中心となる産業拠点
- (3) 円滑な交通結節点を元交通拠点
- (4) 災害時の避難地や活動の中心となる防災拠点
- (5) 地域資源を活用したレクリエーション拠点

＜交通体系の整備方針＞

- (1) 広域道路ネットワーク

松山広域都市計画区域や主要な各都市を結ぶ高規格幹線道路の整備は、観光、広域交流及び緊急輸送道路としての整備を推進し、本区域内を縦断し周辺都市と結ぶ国道とともに広域幹線道路網を形成する。

- (2) 区域内道路ネットワーク
- (3) 自転車・歩行者空間ネットワーク
- (4) 公共交通機関
- (5) その他の交通施設

## 愛南町のまちづくり政策

1. 支えあい健やかに暮らせるまちづくり
2. 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり
3. 活力ある産業を育てるまちづくり
4. 自立と協働による安心安全なまちづくり
5. 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

## ○道路環境の充実

＜めざす姿＞

- ・ 町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。
- ・ 町内の道路において安全で快適な通行ができます。

＜施策に貢献する基本事業＞

### ①愛南町への高速道路の早期延伸

町外（宇和島市・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。

- ②国・県道の整備促進
- ③町道の整備促進

## 6. 意見聴取方法

## ■意見聴取の方法と目的

把握する意見	アンケート	ヒアリング	備考
地域の課題	宿毛～内海間における改善すべき地域の課題について、地域住民の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない具体的な地域の課題や、地域の目指すべき将来像について把握する。	第1回
道路の役割	宿毛～内海間における求められる道路の役割について、地域住民の概ねの考えを把握する。	アンケートでは把握できない具体的な道路の役割や、地域の目指すべき将来像について把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。		
比較ルート帯案（複数案）に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルート帯選定にあたり、地域住民が概ね重要視する視点を把握する。</li> <li>・インターチェンジ設置位置（配置計画）において、地域住民が概ね重要視する視点を把握する。</li> </ul>	ルート帯やインターチェンジ設置位置について、アンケートでは把握できない具体的な重要視する視点を把握する。	今後
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。		
回答者の属性利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	—	共通

## ■意見聴取の基本方針

- 宿毛～内海間における「改善すべき地域の課題」、「求められる道路の役割」に対して意見を伺う。

## ■意見聴取の対象者と方法

対象者・実施方法	
ヒアリング	<b>【自治体及び団体代表者】</b> 県・関係市町村・団体へインタビュー形式でのヒアリング 自治体：愛媛県、高知県、愛南町、宿毛市、宇和島市、四万十市、土佐清水市、大月町、三原村 各団体等：トラック協会、商工会議所、商工会、消防署、警察、バス事業者、農協、漁協、観光協会および、市町村が地域代表として推薦いただける地域の活動団体
	<b>【道路利用者】</b> 関係市町村の道の駅、観光施設の利用者へインタビュー形式でのヒアリング 道の駅：みしょうMIC、すくも、みま、うわじまきさいや広場、津島やすらぎの里、大月、めじかの里土佐清水 観光施設：フレッシュ本松、みはらのじまんや、物産館サンリバー四万十
アンケート	<b>【地域住民】</b> 愛南町、宿毛市の住民へ郵送配布 <span style="float:right">約 19,000部</span>
	愛南町：全世帯に配布 <span style="float:right">約 9,800部</span>
	宿毛市：全世帯に配布 <span style="float:right">約 9,200部</span>
	<b>【企業等】</b> 関係市町村の企業へ郵送配布 <span style="float:right">約 2,600部</span>
各企業：製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等 <span style="float:right">約 2,600部</span>	
<b>【道路利用者】</b> 道の駅・観光施設等への常設、WEB（HP掲載）による実施	

■意見聴取範囲



## ③質問内容・解答欄

### 問1 人口が減少し、高齢化も進展している宿毛市・愛南町地域における課題には、どのようなものがありますか？

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
<b>a</b> 南海トラフ地震発生時に大きな被害が想定される	1	2	3	4	5
<b>b</b> 台風・豪雨に弱い	1	2	3	4	5
<b>c</b> 港があるにもかかわらず物流業や製造業が育っていない	1	2	3	4	5
<b>d</b> 地域の基幹産業である水産業が伸び悩んでいる	1	2	3	4	5
<b>e</b> 豊富な観光資源を有効活用できていない	1	2	3	4	5
<b>f</b> 大きな病院が遠く、医療サービスに不安がある	1	2	3	4	5
<b>g</b> 幹線道路である国道56号は線形が悪く事故が多い	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

### 問2 宿毛市・愛南町地域に必要な道路はどのような道路だと思いますか？

次のa～eについて、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。

項目	そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
<b>a</b> 南海トラフ地震、津波発生時の避難、救援ルートとなる道路	1	2	3	4	5
<b>b</b> 台風・豪雨時にも使用できる道路	1	2	3	4	5
<b>c</b> 宿毛湾港の機能を高める道路	1	2	3	4	5
<b>d</b> 地域産業の拠点と広域的な道路ネットワークを連絡する道路	1	2	3	4	5
<b>e</b> 地域と医療拠点のアクセス性を向上させる道路	1	2	3	4	5
<b>f</b> 事故が少なく安心して走れる道路	1	2	3	4	5

上記a～e以外で、道路に期待していることなどがあれば、ご自由にお書きください。

### 問3 その他、国道56号 宿毛～内海間について、あなた自身が日頃から感じることなど、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

## ④ 手続きの流れ・はがき表面

### 国道56号 宿毛～内海間のアンケート

郵便はがき

7 8 7 8 7 9 0

料金受取人払郵便

土佐中村郵便局 承認 693

差出有効期限 平成29年3月31日 (切手不要)

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 調査課 行

見本

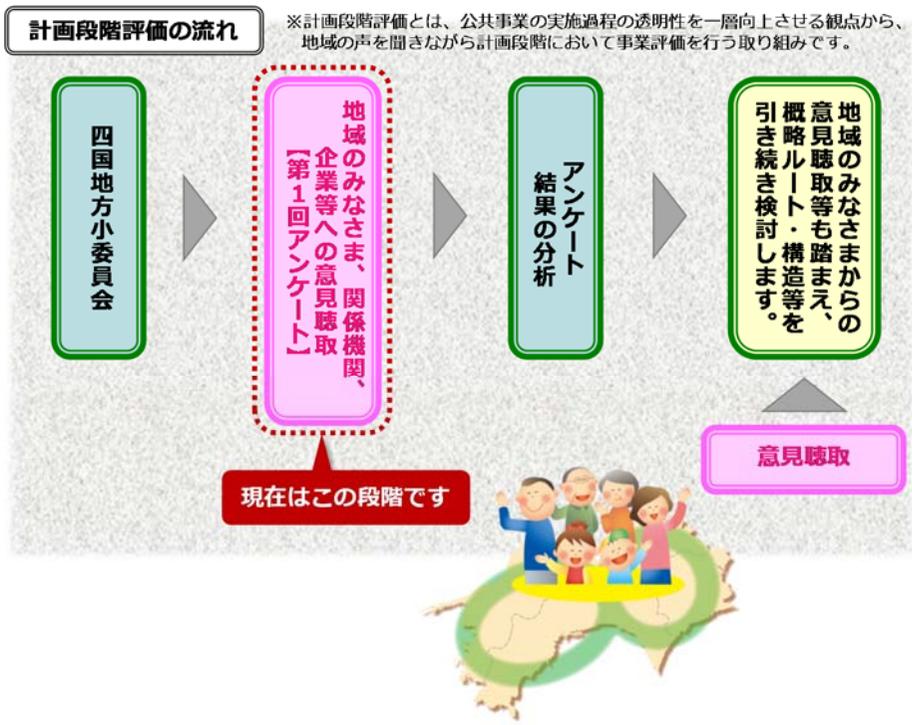
◆ご回答いただいた方ご自身のことについてお聞きします。  
該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。  
その他を選択された方は( )内に具体的な内容をお書きください。

1) 住所	1. 愛媛県南宇和郡愛南町 2. 高知県宿毛市 3. その他( )
2) 性別	1. 男性 2. 女性
3) 年齢	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上

◆国道56号(宿毛～内海間)※の利用状況について  
該当するものを1つ選んで、番号に○をつけてください。  
その他を選択された方は( )内に具体的な内容をお書きください。  
※一部の区間だけ利用する場合も含まれます

1) 現在の国道56号(宿毛～内海間)の利用頻度を教えてください	1. 毎日 2. 週2～3回程度 3. 月2～3回程度 4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない 6. その他( )
2) 国道56号(宿毛～内海間)の主な利用目的を教えてください	1. 通勤 2. 通学 3. 家事・買い物 4. 仕事 5. 観光・レジャー 6. その他( )

●本アンケートでお答えいただいたご意見および個人情報は、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。



### アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局  
中村河川国道事務所 調査課 アンケート係  
〒787-0015 高知県四万十市右山2033-14  
TEL 0880-34-7307  
大洲河川国道事務所 計画課 アンケート係  
〒795-8512 愛媛県大洲市中村2 1 0  
TEL 0893-24-6508  
※電話でのお問い合わせには通話料がかかりますのでご注意ください